

ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2024-2025 Winter Vol.130

TAKE
FREE
無料

ROSE

■ 富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2024年12月発行(第130号・冬号)
■ 発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■ 企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タムラデザイン



INTERVIEW
ヴァイオリニスト

中村真紀子

中村真紀子

ヴァイオリニスト



富士市出身。富士市立広見小学校、岳陽中学校を経て東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業後、ウィーン国立音楽大学へ留学。在学中の2003年5月、イタリアのフェルモで行われた「第10回アンドレア＝ポスタッキーニ国際ヴァイオリン・コンクール」において3位入賞(1位なし)。2005年、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団へ入団。以来、同楽団にて演奏活動を始め、現在は第一ヴァイオリンの副首席奏者を務める。2024年に続き、2025年のニューイヤー・コンサート日本ツアーに出演予定。

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団(SOVOP)は、オペレッタの殿堂「ウィーン・フォルクスオーパー」の歌劇場専属オーケストラ「ウィーン・フォルクスオーパー楽団協会」として1917年に設立。その後、コンサート・オーケストラとして「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」へと名称を新たに、世界的歌手たちと共に名だたるコンサートホールでコンサート活動を行っている。ウィーンゆかりの作曲家、シュトラウス一家、レハール、スッペなどのオペレッタ、ワルツ、ポルカは彼らの十八番であり、本拠地ウィーンの伝統と歴史を継承する正統派として聴衆を魅了し続けている。

日本では1994年以来サントリーホールが招聘。東京・名古屋・大阪を中心にウィーンらしい演出とプログラムによる「ジルヴェスター・コンサート」「ニューイヤー・コンサート」を継続的に開催し、幅広い世代に親しまれている。

1993年11月1日にロゼシアターのこけら落とし公演を飾ったのは「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」でした。またサントリーホールでは1994年の招聘以来、継続的に「ニューイヤー・コンサート」を開催。日本でも親しまれている楽団が2025年1月に再び富士市でコンサートを開催します。

更に、この歴史あるオーケストラで第一ヴァイオリンの副首席奏者を務めているのが、富士市出身のヴァイオリニスト・中村真紀子さん。公演を前にお話を伺いました。

ロゼシアター *on demand* 【特別編】

今回のオンデマンドは特別編として、過去の公演をご紹介します。

2025年1月公演予定の「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」と、富士市出身の楽団員・中村真紀子さんにフォーカスしお届けいたします。

『ウィーン・フォルクスオーパー&メラニー・ホリディ』 1993年11月1日公演

富士市文化会館ロゼシアターは、富士市の文化の拠点となるべく1993年11月1日にオープンしました。この開館記念のこけら落とし公演としてオープニングを飾ったコンサートが「ウィーン・フォルクスオーパー&メラニー・ホリディ」でした。メラニー・ホリディは当時日本で人気を博したフォルクスオーパー専属のソプラノ歌手で、オープンにふさわしく華やかな公演となりました。



『中村真紀子 ヴァイオリン・リサイタル』 2003年9月10日公演

2003年5月イタリアで行われた「第10回アンドレア＝ポスタッキーニ国際ヴァイオリン・コンクール」において、当時ウィーン国立音楽大学に留学中だった富士市出身のヴァイオリニスト・中村真紀子さんが第3位入賞を果たしました。これを記念し、ロゼシアターでリサイタルを開催しました。



ヴァイオリンを始めたきっかけ

遊んでもらっていた近所のお姉さんがヴァイオリンを習っていて、私もやりたいと言ったそうです。二歳くらいの時に。自分では覚えていないのですが(笑)そこからヴァイオリン一筋です。

フォルクスオーパー入団の経緯

日本の音楽大学を卒業後にウィーン国立音楽大学へ留学しました。はじめは留学だけのつもりが、もっと長くいたいと思うようになり、そのためにはどうしたらよいかを模索している中で「オーケストラに入りたい」という気持ちが強くなりました。そんな時に楽団員の募集があり、応募しました。

入団試験について

一般的に学ぶヴァイオリンのレパートリーと、オーケストラ・スタディというものがあり、オーケストラの曲の一部を抜粋した課題曲を演奏するというものでした。私の入団試験のときは二日間あり、二日目はカーテンをして誰が演奏しているかわからない状況で演奏します。次の日に残っているのは七人、八人で、今度はカーテンなしでの演奏をし、最終試験では数人の楽団員と一緒に、室内楽のように弾くというものでした。

音楽家のウィーン生活

わたしたちのオーケストラは劇場専属な

コンツェルトハウスなどの音楽ホール、劇場もたくさんあるので、ちょっと歩けば芸術に触れることができます。文化や歴史がすぐ身近にある街だと思います。

また、日曜日にはお店が閉まるので、日曜日はみんなで休もうねというのんびりとした雰囲気があります。

今回の富士公演に至るきっかけ

実は毎年の日本ツアーは楽団員に人気で、ヴァイオリンのグループには来日メンバー入りするための順番待ちリストがあるくらい。そんな中、私が富士市出身ということから、楽団やサントリーホールさんと富士公演ができたらなと話しており、今回の公演となりました。ロゼシアターは音の響きが良く、弾けば弾くほどうまくなった気分にならせてくれるホールです。

楽団員にとってももちろん食事や富士山も楽しみのひとつ。朝食に和食を選ぶメンバーも多いです。同僚には納豆の作り方を教えたこともありますね。

今回の公演の聴きどころ

ウィーナ・ワルツやポルカを中心としたとても楽しいプログラムになっています。歌手やダンサーも交えて、新年にふさわしい、華やかでわくわくするコンサートです。さらに今回はヨハン・シュトラウス二世の特別プログラムということで、ウィーンらしさに溢れた、フォルクスオーパーの十八番ともいえるラインナップになっていますので、自信をもって



お届けいたします。ウィーンという街の特色でもある「歌いまわし」を楽しんでいただければと思います。

中村さんのおすすめ曲

やはり『こうもり』は最高傑作だと思います。最初の三つの音だけで、まるでシャンパンを開けたような雰囲気を感じられる一曲。ぜひ皆さんにも楽しんでいただきたいです。

富士市の皆さんにメッセージ

本当に楽しいわくわくできるプログラムになっていますので、新年にふさわしい華やかな舞台になると思います。ご期待ください。

ありがとうございました。

取材・文／渡井理恵
撮影／長橋睦



ので、午前中に練習やリハーサルを行い、午後はお休み。夜の十九時から公演があるという生活です。なので昼に一度帰宅するメンバーも多く、私も一日二回、通勤しています。また、ウィーンのスパーは朝七時頃から営業しており、出勤前に家事を済ませたりもします。九月から六月の演奏会シーズンは基本この生活で、夜に本番、午前中は次の公演曲のリハーサルをしており、昼と夜違う曲を弾いていることが多いです。ざっとですが、年間三十曲くらいを演奏しています。

演奏活動を続けることの魅力

いつまでも終わりがなくいいところです。もっともつとつとまくなりたいと思いますし、弾きたいと思う曲もたくさんあり、一生かかっても弾ききれないほど。また二十歳と四十歳では曲の解釈も変わりますし、飽きることはありません。

富士市とウィーン

富士市はなんといつでも富士山と海、山と海が両方あるのが代えがたいと思います。あとは海鮮などの食事です！

そしてウィーンは「世界で最も住みやすい都市ランキング」で毎年上位なんです。公共交通機関も充実していて、楽友協会ホールや

公演情報

ニューイヤー・コンサート2025
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

2025年 **1月7日(火)** 19:00開演
ロゼシアター大ホール

●入場料(全席指定・税込)
S席 12,000円
A席 10,000円
B席 8,000円
※未就学児入場不可

チケット発売中

～ヨハン・シュトラウスII世 生誕200年記念特別プログラム～

- ♪ オペレッタ『こうもり』序曲
- ♪ ワルツ『春の声』作品410
- ♪ 『シャンパン・ポルカ』作品211
- ♪ 『皇帝円舞曲』作品437
- ♪ 『トリッチ・トラッチ・ポルカ』作品214
- ♪ ワルツ『美しく青きドナウ』作品314

ほか ※曲目・曲順は変更になる場合がございます。

EVENT SCHEDULE

2025

イベントスケジュール 2025年1月～4月

ロゼシアター主催・共催事業のご案内

3月

新進アーティスト作品展 vol.23 Art Generation 2025

日時: 2025年3月1日(土)～9日(日)
10:00～18:00(最終日のみ17:00迄)
会場: 展示室 入場料: 無料

作品募集

- 対象: ①静岡県出身および在住、在学、在勤の18～35歳
②静岡県内高校生(20歳未満)
※いずれも2024年4月1日現在の年齢
- 募集作品: 平面、立体、映像、インスタレーション
- 募集期間: 2025年1月4日(土)～2月2日(日)
- ※詳細はホームページをご確認ください。



前回の様子

3月

新人音楽家による演奏会2025

日時: 2025年3月14日(金) 開場18:30 開演19:00
会場: 小ホール
入場料: (全席自由・税込)
均一1,000円
※未就学児入場不可

発売日
WEB・窓口: 12月13日(金)



前回の様子

4月

ロゼこどもスプリングコンサート

日時: 2025年4月12日(土)
1回目 開場10:00 開演10:30
2回目 開場12:30 開演13:00
会場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一500円
※0歳から入場可
※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料

発売日
WEB: 3月20日(木・祝)
窓口: 3月21日(金)



前回の様子

4月

ミュージカル 屋根の上のヴァイオリン弾き

日時: 2025年4月19日(土)・20日(日)
開場12:15 開演13:00
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 15,000円
A席 11,000円
※未就学児入場不可

発売日
WEB: 1月23日(木)
窓口: 1月24日(金)



製作: 東宝

WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
- 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
- 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
- 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※「学生券」は25歳以下の学生が対象です ※購入後の変更・キャンセルはできません

1月

ニューイヤー・コンサート2025 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ～ヨハン・シュトラウスⅡ世生誕200年記念特別プログラム～

日時: 2025年1月7日(火) 開場18:20 開演19:00
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 12,000円
A席 10,000円
B席 8,000円
※未就学児入場不可

共

発売中



©Suntory Hall

1月

富士山静岡交響楽団 新春富士ニューイヤーコンサート

日時: 2025年1月26日(日) 開場13:30 開演14:30
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 2,000円
高校生以下 1,000円
※当日500円増(一般席のみ)
※未就学児入場不可

共

発売中



高関健 (指揮)

奥井紫麻 (ピアノ)

1月

三枝成彰のレクチャーコンサート クラシックは凄い! Vol.3

日時: 2025年1月31日(金) 開場18:30 開演19:00
会場: 小ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 2,500円
※未就学児入場不可

発売中



三枝成彰

2月

第12回 ロゼ富士山こども将棋大会

日時: 2025年2月11日(火・祝)
会場: 展示室・和室 ほか
申込み: 事前申込制

参加者募集

対象: 小学3年生以下の部 32名
小学4～6年生の部 32名
募集期間: 2025年1月5日(日)～1月13日(月・祝)
※詳細はホームページをご確認ください。



前回の様子

AG Street 編

アートジェネレーション ストリート



『防衛創』(足利市立美術館にて初出展)



『防衛創』(一部拡大)

ロゼシアター1階通路約8メートルの壁面(通称:アートウォール)で、公募展「新進アーティスト作品展(アートジェネレーション)」受賞者の個展を開催しています。開館中はいつでもご覧いただけますのでぜひお立ち寄りください。

AG st.編vol.17 落合京作品展 「流血抄」

2024.3.30~6.29

- 第20回新進アーティスト作品展 優秀賞受賞(2022)
- 「久遠の夜を燃やして」(足利市立美術館、2023)



『花霞』

『豆州妖海巡 白浜神社裏』

AG st.編vol.18 伽嶋清華 作品展

2024.6.30~9.30

- 第13回新進アーティスト作品展 優秀賞受賞(2015)
- 伊豆市のポスター、挿絵デザインなど地元で活動する。

作品募集!

新進アーティスト作品展vol.23
Art Generation 2025

静岡県内の18歳~35歳を対象とした美術の公募展です。

【受付】2025年1月4日④~2月2日④

詳細はロゼシアターホームページをご確認ください。



【予定】 AG st.編vol.19 小松麻里子作品展 2025.1~3

- 第16回新進アーティスト作品展優秀賞受賞(2018)

【大会情報】

【日時】2025年2月11日(火・祝)
【受付】12:00~ 【対局】13:00~
【会場】富士市文化会館ロゼシアター

参加者募集!

【対象】将棋のルールを知っている小学生以下の子ども

- 小学3年生以下の部 定員32名
- 小学4~6年生の部 定員32名

【参加費】無料(事前予約制)

【申込方法】ロゼシアターホームページよりメールにてご応募ください
<https://rose-theatre.jp>

【受付期間】

2025年1月5日(日)10:00~1月13日(月・祝)

※先着順(定員になり次第終了します)

※最新情報はロゼシアターホームページをご確認ください。

【協力】本大会は、日本将棋連盟静岡県支部連合会、日本将棋連盟富士宮支部を中心とした、ボランティアスタッフの皆様との協力により開催しています。

【協賛】弘容電機株式会社



二〇二三年の開館二〇周年事業「第七二期将棋名人戦」を記念して開催された、「ロゼ富士山」子ども将棋大会は、今回で十二回目を数えます。小学三年生以下の部、小学四~六年生の部の二部門に分かれ実施するこの大会では、各部門の子ども達が毎回熱戦を繰り広げ、今では県内有数の子ども将棋大会として知られるようになりました。子ども将棋大会では、準決勝・決勝戦の会場をロゼシアター四階の和室で行います。この和室は、将棋名人戦が行われた会場であり、毎回将棋の

タイトル戦さながらの熱い戦いが行われています。また大会に合わせた関連企画として、第七二期将棋名人戦で使用された将棋駒を製作した大澤氏が代表を務める、駒作りの団体、「富士駒の会」の皆様による駒の展示会、駒作り体験、また、どうぶつしょうぎインストラクターである高橋氏による体験コーナーを予定しています。大会に参加いただきた方だけでなく、ご来場いただいた将棋ファンの皆様にも楽しんでいただける内容になっています。



ロゼ富士山子ども将棋大会で審判長を務めていただく中尾六段より参加を考えている皆様にコメントをいただきました。

◆中尾 敏之(なかお・としゆき)六段

静岡県富士市生まれ。故・廣津久雄九段門下。小1時に父親に教わって将棋を始め、中3で棋士養成機関「奨励会」入会。23歳で四段昇段。2017年度の将棋大賞において各局賞特別賞を受賞(竜王戦6組ランキング戦・牧野光則五段との対局)。現在は、指導将棋などの活動を通じて、後進の育成に尽力している。

第12回ロゼ富士山子ども将棋大会に参加を考えているみなさん、こんにちは。将棋棋士の中尾敏之です。私は小学生の頃静岡県内で行われていた将棋大会に参加していました。最初は全く勝てなくて悔しい思いをしていましたが上手な人の指し方を学んだりアドバイスを聞くことを続けているとたまにですが勝てるようになりました。子ども将棋大会では同年代の子と対戦できるのが楽しく、大人も参加している将棋大会では初めて見る攻めかたや守りかたを体験して将棋っていろんな戦法や玉の囲いかたがあるんだと衝撃を受けたのを覚えています。今回の将棋大会は低学年の部、高学年の部と分かれていますので同じくらいの棋力があることも同士の対戦が多く、どちらが勝つのか最後までわからない大熱戦になることもあります。2月11日は雄大な富士山を望める素晴らしい会場で将棋を楽しみましょう。みなさんに会えることを楽しみにしています。



PICK UP

第12回

ロゼ富士山子ども将棋大会

今回も子ども達の熱い戦いが行われます!



ワルツ王 ヨハン・シュトラウス

音楽をこよなく愛するウィーンっ子にとって、わが街の音楽家といえば、モーツァルトでもベートーヴェンでもなく、ヨハン・シュトラウス二世です。なぜか？ウィнна・ワルツこそウィーンの魂だからです。今回はワルツ王と呼ばれた音楽家の小さな物語です。

人生を音楽とともに楽しむ街ウィーン

ハプスブルク帝国の華麗な都ウィーン。十九世紀初頭のウィーンにタイムスリップしてみると、街は音楽にあふれ、人々はワインを片手に陽気に歌を歌い、ワルツに興じる。まさに人生を音楽とともに楽しむ人々の姿にふれることができて

きるはず。街中のレストランでは、たとえ味はよくても音楽のない店からは客は遠のいたといわれます。まさにウィーンは音楽の都でもあります。でも、ワルツの街でもありません。では、いつからウィーンはワルツの街になったのでしょうか。



音楽にあわせて踊るようになり、そこから頭角をあらわしたのが、ヨーゼフ・フランナーとヨハン・シュトラウス二世（父）でした。彼らは、このワルツに革新をもたらした。ウィнна・ワルツの様式を確立しました。幾つかのワルツを巧みに組み合わせ、完成度を高め、ヴァイオリンの優美な響きを際立たせ、ワルツをあらゆる階層の人々に愛される音楽に仕上げたのです。



ヨハン・シュトラウス II 世の肖像

十九世紀は「ワルツの世紀」と呼ばれます。ヨーロッパを大争乱に巻き込んだナポレオン失脚後のウィーン会議（一八一四〜一五）をきっかけに、ワルツは世界的な流行が始まり、一八九九年のヨハン・シュトラウス二世の死によって、世紀末に区切りを迎えました。けれども、ウィнна・ワルツの系譜に付らなるウィнна・オペレッタは、『メリ・ウイドウ』の作曲者レハールなどの登場で、二十世紀初頭に「銀の時代」と呼ばれる第二の黄金時代を迎えることとなります。

ウィнна・ワルツの起源を辿ると、街の大動脈ともいえるドナウ河に行き交う船には、小さな楽団が乗船して、三拍子の田舎舞踏曲レントラーなどを演奏して、旅人や商人を楽しませていました。この音楽はやがてドナウ沿いの宿屋や居酒屋に広がり、人々は



19世紀のダンスホール（奥に楽団が見える）

音楽に進むことを反対した父 ヨハン・シュトラウス世

偉大な父ヨハンの長男として、一八二五年に生まれたヨハン（二世）は、自らの楽団を率いて活躍する父の背中を見て育ちました。ところが、厳格な父は息子が音楽家になることに反対し、銀行員としてのキャリアを歩ませたいと考えていました。音楽家への想いを捨てきれず、応援してくれる母親の助けもあって音楽の勉強をつづけたヨハンは、ついには父に對抗して自らの楽団を立ち上げます。つまり、父と子がライバルとなったわけです。一時は気まずい関係だったものの、父の晩年にふたりは和解。父が死ぬと息子は父の楽団も吸収して、それまで親子に分散していた仕事が、一気にヨハン二世に集

中するようになり。一晩に舞踏場やレストランを五軒以上も廻って演奏するという目も回るような忙しさで、シュトラウス楽団は一時二〇〇人を超える楽員を抱えるほどだったといわれます。

ワルツ王 ヨハン・シュトラウスの栄光

ワルツなしには夜も日も明けないといわれるウィーンっ子にとって、ワルツ王ヨハン・シュトラウス二世はまさに帝王のような存在でし



ウィーン市立公園のヨハン・シュトラウス記念像



代表作『美しく青きドナウ』楽譜表紙



シュトラウス家のタバ

た。画家バイロスの「シュトラウス家のタバ」という絵画では、ピアノに向かうワルツ王と、横に座るブラームスや社交界の面々など、名士たちが彼を取り囲んでいます。栄光の頂点にあった晩年、彼は、自身の音楽とウィーンについてこう語っています。「私に才能があるとすれば、それは愛する都ウィーンのおかげだ。私の創造力は、すべてこのウィーンの大地に根ざし、私の耳がとらえた調べは、このウィーンに空にただよっている。私の心がそれを聴き、手がそれを楽譜に書き記しただけだ」。ワルツ王の栄光は、金色に光り輝くウィーン市立公園の記念像にも刻まれています。毎年、新年の恒例行事として世界中に衛星中継されているウィーン・フィルハーモニーの「ニューイヤークンサート」をはじめ、平和を愛する人々を魅了してやまないワルツの伝統は、いまもウィーンの街に息づいています。

浦久俊彦

主な参考文献
 『ウィーン大研究』 原研二ほか著 春秋社
 『ウィнна・ワルツ ハプスブルク帝国の遺産』 加藤雅彦著、日本放送出版協会
 『シュトラウス・ファミリー ある音楽王朝の肖像』 ピーター・ケンプ著、木村英二訳、音楽之友社
 『ヨハン・シュトラウス 初めて明かされたワルツ王の栄光と波瀾の生涯』 フランツ・エンドラー著、喜多尾道冬ほか訳、音楽之友社
 『音楽家400人の肖像 19世紀』 ガブリエル・サルメン著、藤村あや子訳、音楽之友社
 Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Université d'Oxford/Robert Laffont

浦久俊彦（うらひき としひこ）

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、愛知県教育委員会教育アドバイザー。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した「ぎふ未来音楽展2020」が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか（指揮者・山田和樹との共著）』（アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リベラルアーツ〜遊びを極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）。

開催日:8月6日(火)
参加費無料

スタンプラリー



このイベントは小学生以下を対象に催され、三一九名が参加しました。
市内の文化団体にご協力をいただき設けられた七つのブースには、それぞれの趣向を凝らした展示やワークショップ、体験、演奏会などが用意されました。
参加した子供たちはお気に入りのコーナーで時間いっぱいまでたっぷりと楽しむなど、それぞれの楽しみ方でイベントを満喫していました。



参加者の感想

- 初めて体験することばかりでとても楽しめました。色々な世代の方と接する機会を持て良かったです。
- 夏休みに様々な体験を、子供にさせてあげることが出来ました。
- コンサートや工作など、スタンプラリーだけでなく体験もたくさんでき楽しい時間を過ごせました。



開催日:8月24日(土)・25日(日)
参加費無料

トレインフェスタ

親子連れだけでなく、大人の鉄道ファンも楽しむこのイベントは、一九八九名が来場し大盛況となりました。
展示内容は協力団体が収集、作成した国内外の鉄道模型や写真、コレクションなど多種多様なもので、こだわりの精巧なジオラマの中を駆け回る鉄道模型の姿を食い入るように見続ける子どもや撮影を楽しむ子ども、乗車できるミニトレインをはじめとした体験ブースで楽しむ子どもなど、それぞれの楽しみ方で思い思いに過ごしていました。



参加者の感想

- ゆっくり見られて楽しかった。子供が2時間も見ていました。
- 無料で暑い夏に涼しい場所でのイベントは、たいへんありがたいです。来年もお願いします。



FLASH BACK 特別編

ロゼこどもサマーフェスティバル

ロゼシアターでは、夏季に子どもを対象としたロゼこどもサマーフェスティバルを開催しています。

2024年は0歳児から入場できるコンサート『ロゼこどもコンサート』、

ホール舞台裏を探検する『ホール探検隊』、

市内文化団体が多種多様なイベントブースを開く『スタンプラリー』、

鉄道模型の展示会『トレインフェスタ』を開催しました。

今回は3つの参加型イベントの様子を紹介します。



開催日:7月30日(火)・31日(水)
参加費無料(事前申込制)

ホール探検隊



このイベントは小学生を対象にした三回と、中学生以上を対象にした一回の計四回催され、六八名が参加しました。
参加者は客席に演奏スペースを作るオーケストラピットの機構や、道具の収納・演出に用いられる迫り、舞台上部の吊りものバトンなどを見学したり、照明や音響設備を実際に動かす操作体験を行いました。



参加者の感想

- 普段入ることができない所に入ることができてとても勉強になりました。
- 見るだけでなく、体験もできてよかった。オケピ(=オーケストラピット)を作るところを見れ、体験がとても良かった。オケピのあるパレエを見たくまりました。

INFORMATION from ROSÉ THEATRE



チケットinformation

【ロゼフレンドシップ会員の皆様へ】

ロゼシアターホームページからチケットご購入時、クレジットカード決済をご利用になる場合、第三者によるクレジットカード不正利用防止のため、本人認証サービス「3Dセキュア2.0」対応カードが必要となります。未登録のお客は、あらかじめカード会社にて本人認証サービス「3Dセキュア2.0」のご登録をお願いいたします。

※ご登録方法等についてはお客さまご利用のカード会社へお問合せください。

ふじ・紙のアートミュージアム

岩崎花菜子展

観覧無料

開催期間：2025年1月5日(日)～3月16日(日)
開館時間：10:00～18:00

休館日
1月20日(月)、2月17日(月)～20日(木)、
3月10日(月)・11日(火)
*ロゼシアター休館日に休館
□日程など変更する場合がございます。
□最新情報はウェブサイトまたはFacebookを
ご参照ください。



ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市夢原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>

プレゼントのご案内

Aコース 公演チケット1組2名様

対象公演：三枝成彰のレクチャーコンサート
『クラシックは凄いvol.3』
1月31日(金) 19:00開演

Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券(1,000円分) 2名様

■応募方法：はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望プレゼントを明記し、下記アンケートにご回答のうえ応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先：〒416-0953 富士市夢原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ130号」プレゼント係

■締切：1月21日(火)必着

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)

レストラン「ロゼテラス」

期間限定メニュー ポルチーニパスタ登場!



- ビーフシチューのオムライス 1,850円
- ポルチーニクリームパスタ 1,850円
- 炭火焼鳥と彩り野菜のオムライス 1,580円
- ツナと木の子の和風パスタ 1,480円
- アスパラとベーコンのアラビアータ 1,500円

◆営業時間 11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

◆場所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間は月曜休店・ランチ営業のみ。
詳細は「ロゼテラス」ホームページをご覧ください。



休館日のお知らせ

12月28日(土)12:00～1月3日(金)
1月20日(月)
2月17日(月)～20日(木)
3月10日(月)～11日(火)

編集後記

2024年も気がつけば12月です。今年は夏が長いと思えばあっという間に寒くなり、秋を感じる間もなく冬が来てしまいました。1月にはニューイヤーを祝うクラシックコンサートが開催されます。新年の雰囲気たっぷりの、祝祭感あふれるイベントで季節を感じるのもオススメです。

本誌は11月20日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■X「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji ■YouTube「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】

2024年で開館31年目を迎えたロゼシアター。これからも快適に、そして安全に使っていただけるよう、日々館内の設備や貸出備品の修理を行っています。今回は、みなさんがあまり目にする事のない修理の裏側や修理後の変化についてご紹介します。

第二練習室 ピアノ※ハンマー交換



第二練習室 修理の様子

ロゼシアター一階の第二練習室、第二練習室、リハーサル室はそれぞれグランドピアノを備えています。ロゼシアターでは定期的にピアノの点検を実施していますが、点検とは別に劣化した部分の修理も行っています。

二〇二四年五月、特に劣化が強くみられた第二練習室ピアノのハンマー取り換え修理を行いました。ハンマーのフェルト部分の硬さや厚みはピアノの音質に大きく影響します。



新しいハンマー(左)と、交換前のハンマー(右)

修理前の硬く薄いハンマーから、柔らかく厚みのある新しいハンマーに換わったことで、タッチの変化が音に反映されやすくなり、豊かな響きの音になりました。利用者みなさんからも「修理前と音が全く違う」とても良い音になった」と、修理の効果を実感する声をいただいています。

※ハンマー・ピアノの弦を打つ部品

展示室 水曜半額 キャンペーン

一般・特別展示室の利用料金が、水曜日(祝祭日を除く)限定で半額!

対象期間：2025年4月～

こんな方におすすめです!
▶予算をおさえて展示をしたい方
▶日を延ばしゆとりをもって準備したい方

詳細は会館窓口またはお電話でお問合せください。

電話：0545-60-2510



before



after

コンパクトなスペースで、個人や少人数での作品展に最適な特別展示室は、ガラスケースを使用したり、可動パネルで好みのレイアウトを作ったりと自由度も高い展示室です。しかし、常設のライトだけでは明るさが十分でなく、展示・撤収作業がしにくいという問題がありました。

暗さを解消するため、サンブルを使った試験を重ねて照明の色味や台数、設置位置を決めていき、二〇二四年九月に六灯のLED照明器具を増設しました。これにより室内は目に見えて明るくなり、光も均一に広がるようになりました。より使いやすくなったと感じていただけましたら嬉しいです。

特別展示室 照明の増設

